



青木文化庁長官から内定書を受け取る横内知事

「国民文化祭」 平成25年度の本県開催が内定

県が招致を進めてきた平成25年度「国民文化祭」が、国の国民文化祭実行委員会の審議を経て、本県で開催されることが内定しました。

「文化の国体」ともいわれる国民文化祭は、全国各地で行っている文化活動に発表と交流の場を提供し、国民の文化水準を高めるため、昭和61年度に第1回大会が東京都で開催されて以来、毎年、各都道府県持ち回りで行われている日本最大級の文化の祭典です。

国民文化祭では、開催県内の多くの市町村において、音楽、美術、民俗芸能、華道など、芸術的・伝統的なものから日常生活の中にある身近なものまで、文化に関するさまざまな分野で、公演や展覧会などが開かれます。

昨年10月24日には、文化庁において、青木文化庁長官から横内知事に「平成25年度（第28回）国民文化祭内定書」が交付されました。

内定を受け12月には、芸術文化団体や市町村など県内関係団体で構成する「山梨県国民文化祭開催準備委員会」が設置され、5年後の大会開催に向けてスタートが切られました。



平成19年度開催の「第22回国民文化祭・とくしま2007」開会式



握手を交わす3県知事

「第2回 山梨・静岡・神奈川三県サミット」開催

山梨、静岡、神奈川県の知事が広域的な行政課題を協議しあう「第2回山梨・静岡・神奈川三県サミット」が昨年10月30日、静岡県で開催されました。

このサミットでは、3県にまたがる富士箱根伊豆地域への観光客誘致に向けて、各知事から「三県知事による海外での観光トップセールス」「富士山ライジングプロジェクト（仮称）の策定」「景観に配慮した道路案内標識や観光案内板等の公共サインに係る連携」の3項目が提案され、合意されました。



さまざまに描かれた「富士山」に見入る観覧者

富士山世界文化遺産 暫定リスト登載記念特別展 「北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景」開催

県立博物館では、富士山の世界文化遺産暫定リスト登載を記念して、特別展「北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景」を昨年10月13日から11月18日まで開催しました。

この特別展では、浮世絵風景画を代表する葛飾北斎と歌川広重の富嶽三十六景シリーズ全作品が一挙公開されました。訪れた観覧者たちは、二人の富士図を通して、当時の人々にとっての富士山の存在や、また、江戸時代の文化や暮らしに思いをめぐらせていました。



姉妹県道締結15周年を記念しカエデ(山梨県の木)を植樹

山梨県・忠清北道姉妹県道締結15周年 横内知事、韓国で観光トップセールス

山梨県と忠清北道は、平成4年3月27日に姉妹締結し、昨年で15周年を迎えました。

横内知事は、昨年10月12日から15日までの4日間、大韓民国を訪問し、山梨県・忠清北道姉妹県道締結15周年記念式典・記念植樹に出席し、忠清北道の鄭宇澤知事と今後のさらなる交流発展を約束しました。

また、東アジアからの観光客の誘致を促進するため、昨年7月に中国で行ったトップセールスに引き続き、清州国際工芸ビエンナーレに出展した観光物産ブースにおいて、「山梨の日」キャンペーンを実施し、本県の観光と物産のPRを行いました。

最終日には、ソウルの日本大使公邸に旅行会社をはじめ政府関係機関や観光関連団体、マスコミなどを招待し、本県の観光資源やワインなどの売り込みを積極的に行いました。



観光物産ブース内で本県の県産品などを紹介する横内知事

忠清北道 鄭宇澤知事を代表とする 友好訪問団来県

昨年11月8日から11日までの4日間、鄭宇澤知事をはじめとする友好訪問団が来県し、県民の日記念行事でにぎわう小瀬スポーツ公園で、山梨県・忠清北道姉妹県道締結15周年記念式典と忠清北道の花である「白木蓮」の記念植樹が行われました。

また、県民の日記念行事小瀬会場には、「大韓民国 経済特別道 忠清北道 広報展」のブースがおかれ、鄭宇澤知事らが忠清北道の観光PRなどを行いました。



県民の日記念行事小瀬会場に設けられた「大韓民国 経済特別道 忠清北道 広報展」ブース

県立考古博物館 開館25周年記念特別展 「世界遺産ナスカ展」開催

県立考古博物館では、開館25周年を記念して、特別展「世界遺産ナスカ展—地上絵の創造者たち—」を昨年10月10日から11月30日まで開催しました。

世界で初めて、本格的にナスカ文化を探求したこの特別展では、巨大スクリーンで地上絵を空から眺めるバーチャルシアターの設置をはじめ、ナスカ人のミラ、彩色土器、織物など多彩な出土品の展示により、「ナスカの地上絵」を描いたナスカの人々の驚くべき文化の謎に迫りました。



ナスカ文化の出土品に見入る観覧者